平成３０年第１０回定例会会議録要旨

◆開催日時　　平成３０年１０月３１日（水）　　午後３時００分開会

◆開催場所　　国富町農村環境改善センター　Ｃ会議室

◆出席委員　　豊田畩光　　木下正明　　海老原千浩　　山本憲一

◆欠席委員　　二上由美

◆出席職員（事務局）　　大矢雄二　　松岡徳　　中島達晃　　日髙健一郎　　中武瞳

◆会議録署名委員　　木下正明

◆議　　案　　議案第３６号　国富町教育振興基本計画（改定版）～くにとみ教育ビジョン～の制定について

　　　　　　　議案第３７号　国富町運動部活動の活動時間及び休養日設定等に関する方針の制定について

議案第３８号　平成３０年度準要保護児童生徒の追加認定について

◆教育長報告要旨（１０月１日～１０月３１日行事実績）

①教育総務課

　　　○１０月５日（金）市町村教育委員と県教育委員との意見交換会（中部教育事務所）

　　　　　山本委員に出席していただきました。テーマとして、本県教育の課題と求められる施策、今の県教育が進めている中での課題、そしてこれからどんなことをやっていったらいいかというような内容だったというふうに書面上ではお見受けしました。山本委員には台風の後始末等で非常にお忙しい中で出席していただきました。後でご報告をお願いします。

○１０月１８日（木）第２回地域公共交通会議

　　現在、スクールバスの空き時間を使って、宮交バスが走っていない交通が不便な地域にコミュニティバスを走らせていますが、乗る人がほとんどいない状況です。しかし、地域の方が病院や買い物へ行くのに非常に不便であるなかで、どうやって公共交通を確保していくかという話し合いを行っているところです。現在協議しているデマンド型交通は、病院や買い物に行きたい人からの要望を受け、乗り合いタクシーのようなかたち、ゆくゆくは自分の家からドアｔｏドアで目的地まで行けるのが理想なのでしょうが、その価格がどれぐらいになるのか、宮交バスとどう繋いでいってといったこれからの公共交通網をどうしていくかという話し合いをしているところです。教育委員さんにもこういう動きがあることをご紹介するためにご報告いたしました。

○１０月２５日（木）宮崎県市町村教育委員会連合会第３回理事会

県教育委員会との意見交換会

宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会

　　理事会に木下教育委員と私で出席し、その後の意見交換会に参加しました。大きなテーマとして、働き方改革をもとに話し合いを行いました。午後の研究大会には二上委員にも参加していただき、椎葉村と小林市の取組みの事例発表、水泳の松田選手を育てた久世コーチの講演がありました。

②社会教育課

○１０月１３日（土）・１４日（日）第３５回総合町民祭

　　　　　社会教育課の部分から言うと、ステージでの生涯学習講座でたくさんの方が参加されて盛り上げていただきました。体育館では給食関係も含めての作品展が開催されました。

③学校給食共同調理場

　○１０月２９日（月）学校給食運営委員会

　　年に３回行われるもので、１０月の第２回は前年度、平成２９年度給食費会計の決算を認定しました。その後、給食費や異物混入の問題等の意見交換を行いました。

教育長　　　市町村教育委員と県教育委員との意見交換会の内容を山本委員お願いします。

教育委員　　６人一組でグループになり、自分の意見を付箋に書いて、問題点について対策を考えていきました。テーマが宮崎県の教育の課題とその対策についてという、ものすごく大きなテーマでした。私がいたグループは元学校の先生が３名、県の教育委員の方が弁護士さんで、宮崎市の教育委員さんが和楽器の先生をされている方で、みなさん、なにかしら先生と呼ばれる方ばかりで、他のクループに比べていろいろたくさんの意見がでました。その中で一番盛り上がったのは、「学力テストって意味あるのかな」という意見をされました。いまその学力テストがゴールみたいな形になって、学校の順番をつけたりとか、ひどいところになると、それで学校の先生を査定したりするところもあるとおっしゃられて、本来の目的は、そこがゴールじゃなくて、その結果を利用して、できなかったところをできるように教育していくための材料として使うのであればいいのですが、そこをゴールとしている現状はおかしいという意見が出ました。子どもたちにとってはできないところを今後できるようにしていく材料として使ったほうが、それが本来の目的じゃないかというような素晴らしい意見がでました。私が問題として出したのは、中学校の部活動の問題等です。学校の先生が見た感じ忙しそうであると。教育の質は私たちが在学中より上がっているとは思いますが、子どもにも余裕が無さそうだし、先生たちも余裕無さそうだし、というような意見を出したら、元先生だった方たちが、確かに今の先生たちは忙しいとおっしゃられました。

そのあとの対策案で、私は単純に、先生の仕事が一つ増えるとしたら、一つ二つ減らすというふうに、これをするなら、これはしなくていいですよといった提案をしないと、ますます先生たちは忙しくなって大変なことになるのではないかと対策案を出しました。元先生の方たちからも細かく、たくさんの改善策が出されました。先生からこういった改善した方がいいという意見がたくさん出るということは、実際企業とかだったら自分たちの職場を良くしようと思って、自分たちが会社にいるときにどんどん改善していったと思うのですが、公立学校はそういうことができているのかなと、元先生方も在任中に改善しようとしてきたのかなという疑問もちょっと出てきました。以上です。

教育長　　　かなりいい内容で、山本委員の意見にもなるほどと思うところもいっぱいあって、すごいなと思いました。今のことを聞いての感想等ありませんか。教育対策監は現場の先生方が改善策を出さない理由など何か感想はないですか。

日髙対策監　みなさん思っていることは確かです。例えば、国からくる調査等が大量にあって、更にそれに県が加えて現場に下ろすというふうに増えてきます。スクラップアンドビルドが本当に必要だと思うのですが、そこができていない状況です。１回立ち上げたものをなかなか無くすということができないので、膨らむ一方なのかなと思います。なかなか学校だけでそれを無くしていくというのは難しいのかなと思います。

教育委員　　年月が経っていくと、やらなくていい仕事はでてくると思います。生産性が少ないものを、生産性がゼロではないから残すというより、無くした方が楽になるということもあると思うのですが。

教育長　　　おそらく、教育長や学校現場の人だけで集まったら、そういう発想は出ないと思います。そういうものだと思い、染み込んで、やらなければならないものだと思っているので、今言われた生産性という言葉の発想が学校にはなかなかなく、ずっとやってきたことなので、どんどん増えるばかりなのです。おそらく削れないと思います。生産性といった発想が出たということが、教員上がりではない教育委員がいたことの効果だと思います。

教育委員　　しなくていい仕事は、一度やめてみて、ないと困るというのであれば、もう一度やればいいのです。１年経って、無くてもよかったものはもうやらなくていいと思います。私たちのグループでも先生たちを擁護するような意見が多かったです。

教育長　　　部活動については、木下委員と一緒に出席した会でも、働き方改革で出ていましたが、学校単位の部活ではなくて、これからは地域の部活でもいいのではないかというような方向性の話も出ました。山本委員が前回の教育委員会で言われましたが、そういう案も出されたのですか。

教育委員　　出しました。中学校や中体連の大会ではなくて、スポーツクラブとかも参加していい、１２歳から１５歳までの大会にした方がスポーツとして盛り上がるのではないかというようなことは言いました。そうすれば、部活のために区域の違う別の中学校に通うというようなことは無くなるわけです。年齢区分の大会にしてもいいのではないかということは言いました。

◆議事要旨

議案第３６号国富町教育振興基本計画（改定版）～くにとみ教育ビジョン～の制定について

平成２５年１２月に策定しました国富町教育振興基本計画が制定後５年を経過し、その間、教育を取り巻く状況が大きく変化したことに伴い、計画内容を改め、改定版を制定するものです。　　　【資料に沿って説明】　　　　　　　　　　　　　　【原案のとおり承認】

議案第３７号国富町運動部活動の活動時間及び休養日設定等に関する方針の制定について

市町村教育委員会が国のガイドラインに沿い、県の方針を参考に運動部活動の活動時間及び休養日設定等に関する方針を定めるものです。

国が部活動の休養日等についてのガイドラインで示した、教員の働き方改革、働きすぎという問題も含めながら、子供たちにとって健全なスポーツのあり方、部活動のあり方についての指針を定めるということに基づいて、県が方針を作り、今回提案している国富町の方針を基に学校が来年の３月までに方針を策定するということになります。

【資料に沿って説明、審議】　　　　　　　　　　　【原案のとおり承認】

議案第３８号平成３０年度準要保護児童生徒の追加認定について

就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律に基づき１１月１日から認定するものです。

【議案資料を基に説明、審議】　　　　　　　　　【審議結果のとおり決定】

◆その他

◇行事予定について　各課行事予定表に基づき説明

◇学校給食の本庄中学校２年生の体験学習と木脇小学校の調理場見学について

本庄中学校の体験学習は、調理場の中で下処理までを体験してもらいます。木脇小につきましては、あくまでも調理場の見学のみです。

◇平成２９年度学校給食費会計収入支出決算書について

　【平成２９年度学校給食費会計収入支出決算書を基に説明】

◇全国学力・学習状況調査の結果について

【資料に基づき説明】

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（閉会午後４時１５分）